

第 7 章 熊谷市障がい者施策推進委員会の提言

1 第6期熊谷市障がい者支援計画策定に対する提言

はじめに

熊谷市障がい者施策推進委員会は、学識経験者、障がい者団体の代表、関係行政機関の職員、障がい福祉事業者、公募による市民により組織され、市の計画策定及び計画の円滑な推進を図るため、意見や助言を行う機関として設置されている。

本委員会では、本計画の策定にあたり、現行計画に基づく障がい者施策の実施状況の監視を通し、障がい者施策の現状と問題点を検討してきた。

本委員会の役割である意見・助言について、次のとおり「提言」として取りまとめた。計画策定の主体である熊谷市においては、この提言を十分に踏まえ、本計画の推進を図られることを要望する。

熊谷市障がい者施策推進委員会 委員長 清水 海 隆

提 言

基本方針1 心かようやさしいまちづくり

「心かようやさしいまちづくり」にとって、心のバリアフリーの推進は非常に重要である。その拠点である情報交換の場や、学習の場として「障害福祉会館」の役割は非常に大きい。現在でも、手話講習会や心のバリアフリー教室など行っているが、障がい者団体から、さらなる多種多様な交流や学習の場を確保することが要望されている。

また、市民との交流の場として、地域公民館を利用した地域交流や、小中学校、身近な大学や高校を利用した世代間交流など、他業種間交流を展開していくことも重要である。市は、以上のような障がい者同志の交流や学習の場、地域との交流の場などの橋渡し役としての役割を果たしてもらいたい。

基本方針2 いきいき暮らすまちづくり

本計画の基本理念である「ともに生き、ともに暮らせるまちづくり」の実現のためには、基本方針2に掲げられた「相談支援」や「福祉サービスの充実」、「地域生活移行」、「地域生活の継続支援」が要（かなめ）となる。

しかしながら、本市においては、福祉サービス提供事業所の不足が課題として挙げられる。また、障害福祉専門職の不足も挙げられる。

どちらも、外的な要因にも左右されるものであり、自治体の努力のみで充足できるか、不確定な部分もあるが、障がい者団体等からも継続的に要望がでており、最重要課題として、福祉サービス提供事業所や専門的人材の増加に寄与する施策を、積極的に講じられたい。

基本方針3 すこやかに育むまちづくり

障がい児に対するきめ細やかな支援は重要であり、障がいの疑いのある段階から、早期発見、早期支援を講じ、障がい児が地域社会に参加するための一助となるよう取り組まれない。

同時に、その家族に対しては、様々な育児上の疑問や不安を解消するための、身近で多面的な相談支援が必要となるため、保健、医療、保育、教育などの関係機関の連携による効果的な支援を講じられたい。

基本方針4 生きがいのあるまちづくり

障がいのある方が生きがいを持ちながら社会で暮らしていくためには、就労は重要である。そこで、就労の場を確保するための支援を充実されたい。また、雇用の場を提供する際、幅広い職種が提供されるよう、雇用側の障がい及び障がい者の理解の促進を図られたい。

また、文化、スポーツ活動への参加も、障がいのある方の社会参加の促進に寄与することから、その参加機会の積極的な創出に取り組まれない。

基本方針5 安心・安全なまちづくり

障がいのある方が地域の中で安全に快適な生活をする上で、様々なバリアの解消は、非常に重要である。

しかしながら、障がいのある方にとって、本市の現状は、生活環境、移動環境ともに、不十分であると言わざるを得ない。

市として、公共施設など改善できる部分については、責務として認識し、順次改善するよう取り組まれない。

また、熊谷市内のバリアフリーマップ「あのくま」について、平成28年に立正大学と市との協働により作成し、その後更新されていない。現状の市内のバリアフリー状況を把握するためにも、ぜひ定期的に更新し、利用に供されたい。

防災対策についても、安心であると感じるところまでには至っていないことは、障がい者団体からの意見・要望からも伺える。地域での話し合いや、避難訓練など

を活用しながら、市と市民で連携・協議し、障がいのある方にもやさしい防災対策を講じられたい。

おわりに

以上のとおり、各基本方針ごとに取り組むべき重要事項について述べた。

この提言は、障がい者団体からの要望にも掲載があるものであり、本計画においても施策として掲げられている内容であり、今後3年間において、達成すべき事項の一部である。予算措置が必要な事項については、積極的な予算設定をなされたい。

また、前計画の取り組み状況が未達成の項目が散見されており、本計画に継続されている項目については、引き続き、一層の努力が必要である。

なお、熊谷市には、市民の力を活用し、大きな成果を生み出す事業として、「熊谷の力」事業がある。課題解決のためにも、このような事業を積極的に活用し、大きな成果が生まれることを望みたい。

以 上